

愛媛県歴史文化博物館

No.89

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

平成29年度特別展

「未来の博物館」(香川元太郎作・絵「続・時の迷路」より)

迷路 絵本

香川元太郎の フシギな世界

迷路にかくされた歴史のヒミツをさがせ!

平成29年
4月22日(土) ▶ 6月25日(日)

迷 特別展・常設展
共通観覧料

大人(高校生以上).....850円
65歳以上.....450円
小中学生.....280円

迷 特別展観覧料

大人(高校生以上).....550円
小中学生・65歳以上.....280円

迷 開館時間

9:00~17:30(入館は17:00まで)

迷 休館日

毎週月曜日(但し、第一月曜日は開館、翌日休館)

主催/愛媛県歴史文化博物館

協力/香川元太郎 株式会社PHP研究所

後援/愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・南海放送・テレビ愛媛・
あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・
八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいのや

明治期に撮影された今治市朝倉の古墳の内部

石でできた構造物とその中にいる着物姿の男性。この写真を見て何を想像されるでしょうか？

この写真は、明治政府のお雇い外国人であるイギリス人のウィリアム・ゴーランド(1842-1922年)が、日本滞在中に各地の古墳を調査した際に撮影した横穴式石室の1枚です。

愛媛県関連では、今治市朝倉の古墳と横穴式石室の写真が5枚、大英博物館に残っています。彼が朝倉を訪れたのは、最近の学術調査により、明治13(1880)年10月8日であることがわかっています。明治期の県内の古墳調査記録写真としては、これまで知られておらず、非常に貴重な資料です。この写真は後の論文に、「(前略)このドルメンは朝倉(伊予)近くにあって30で一群となっているなかの一基である。羨道入口の笠石の位置はドルメンを覆った土がどんなに浅いかを示している。(中略)一部分は丸い河原石、一部分は石を割った塊石でつくってあり、長さ12フィート9インチ、幅は奥で6フィート10インチ、正面で5フィート5インチ、高さは7フィート8インチである。天井は大きな石三個できている。」(上田監修1981)と詳しく記されています。

この石室は、今回特別展に合わせて現地確認を行ったところ現存せず、消失してしまったものと思われる。また、この写真はこれまで野々瀬古墳群とされていましたが、石材の大きさや積み方から多伎神社古墳群の1基であると考えられ、他の写真を合わせるとゴーランドは、朝倉の2箇所の古墳群を調査していることがわかります。(専門学芸員 富田 尚夫)



年代:明治13(1880)年

撮影:ウィリアム・ゴーランド

所蔵:大英博物館(後藤和雄氏撮影、明治大学博物館寄託)

Goiland Archive, British Museum(Photo courtesy of Meiji University)

引用文献:W・ゴーランド著・上田宏範監修・稲本忠雄訳1981『日本古墳文化論』創元社

本資料は、特別展「はに坊と行く!「えひめの古墳探訪」(会期:2月11日~4月9日)で展示します。

御所人形「金魚売り」



年代:明治時代
サイズ:高41cm(台も含む)
所蔵:当館蔵

白い肌とぽっちゃりとした丸みをおびた体つき。愛らしい幼児の姿が特徴の人形を「御所人形」と呼んでいます。手のひらに乗るほどの小さい座り姿のものから、亀や瓢箪などの縁起物を持ちたり、衣裳を着付けたりした見立て姿のものなど、さまざまなタイプのものが作られました。

当資料を見てみると立ち姿の人形を安定して飾るため、台の上に固定する台乗りのスタイルをとっています。御所人形の特徴とされる白い肌に三頭身のボディ。肩に担いだ両天秤の両端には、たらいが吊り提げられています。たらいの中をのぞくと赤い金魚が楽しげに泳いでいます。この姿は、江戸時代後期に始まったといわれる金魚を売り歩く金魚売りの様子に見立てたものです。夏の夕方、街中を売り声を上げながら歩く金魚売り。水の中を優雅に泳ぐ金魚の姿は、暑い夏の日の一とときの涼を求める町人の中で大人気。金魚売りは俳句の夏の季語にもなります。人形師たちは、そんな時代の流行を敏感に取り入れて人形を制作していたことがうかがえます。

赤はおめでたい意もあり、縁起の良い赤い金魚を売り歩く金魚売りと愛らしい子ども姿の人形の組み合わせは、福を呼んでいるかのようで、見る人の目を愉ませてくれます。

(専門学芸員 宇都宮 美紀)

特別展

迷路絵本

香川元太郎の フシギな世界

特別展会期中(4/22~6/25)の土・日・祝日は楽しいイベントが盛りだくさん。

さらに、GWイベント期間中(5/3~5/7)はいつものイベントがパワーアップ! れきはくで1日中楽しもう♪

特別展関連イベント

「国際博物館の日」記念事業

迷路絵本ミュージアムツアー

学芸員が歴史迷路の展示室を案内します。

日 時/5月20日(土) ①11:00~ ②14:00~

場 所/企画展示室

参加費/当日の特別展観覧券または共通観覧券が必要



ビー玉迷路をつくろう

ビー玉を転がせて、ゴールをめざせ!

日 時/特別展会期中(4月22日~6月25日)の土・日・祝および
GWイベント日(5月3日~5月7日)
10:00~12:00/13:00~16:00

場 所/こども歴史館

材料費/300円

(友の会会員は期間中1回半額)



ゴールデンウィークイベント

香川元太郎さん講演会

迷路はこんなにおもしろい!

香川元太郎先生が「迷路」の魅力について講演。サイン会も実施。

日 時/①5月3日(水・祝)14:00~15:30

②5月4日(木・祝)10:30~12:00

場 所/多目的ホール

定 員/各回先着300名

※当日の共通観覧券が必要

整理券を①5月3日12:30~13:30、②5月4日9:00~10:00

に、総合案内横で配布します。共通観覧券をご購入のうえお越し

ください。混雑が予想されますので、お早めにご来館ください。

※サイン会は当日絵本購入者を対象に、各日先着50名様をご案内します。

ミラーメイズ 「鏡の国のアリス」

何度も挑戦したくなる、
宝探し型巨大迷路!

日 時/5月3日~5月7日
10:00~16:00

場 所/エントランスホール

参加費/1回500円

(当日の共通観覧券購入で1回300円)



久万高原町 発掘50年 の足跡

テーマ展



上黒岩岩陰遺跡出土隆起線文土器(当館保管)



上黒岩岩陰遺跡出土装身具(当館保管)

本展では、近年発掘成果の著しい“久万高原町”にスポットを当て、いにしえより豊かな自然の恵みを生活の基盤としていた先人たちのくらしぶりを紹介いたします。また、平成28年度に実施した当館保管の上黒岩岩陰遺跡出土遺物の整理・分析の成果も合わせて展示します。

期 間/3月25日(土)~9月3日(日)

※休館日は年間カレンダーをご参照下さい。

会 場/考古展示室

れきはくのおしごと

れきはくでは、2月11日から4月10日の期間中、特別展「はに坊と行く! えひめの古墳探訪」および、テーマ展「おひなさま」を開催し、会期中の土曜・日曜・祝日には、各種イベントを実施しました。食体験イベント「発掘!古墳ケーキ」には、お子様から大人の方まで多くのお客様にご参加いただき、古墳に見立てたケーキが好評でした。こども歴史館では、透明な粘土を使ってつくる「オリジナル勾玉ペンダントをつくろう」等のワークショップで賑わいました。たくさんみなさまのご来館、誠にありがとうございました。



平成29年度 歴史文化講座 上期

歴史講座 13:30~15:00

- 講座番号① 源氏物語講座①「源氏物語の絵合」
日 時:5月20日(土)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
- 講座番号② 夏休み自由研究応援講座①「村上海賊を調べよう」
日 時:8月5日(土)
講 師:土居 聡朋(当館専門学芸員)
対 象:児童・生徒向 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号③ 夏休み自由研究応援講座②「戦争を調べよう」
日 時:8月6日(日)
講 師:平井 誠(当館専門学芸員)
対 象:児童・生徒向 ※小学生は必ず保護者同伴

古文書講座 13:30~15:00

- 講座番号①「宇和島藩武家文書をよむ①」
日 時:9月3日(日)
講 師:安永 純子(当館専門学芸員)
- 講座番号②「宇和島藩武家文書をよむ②」
日 時:9月24日(日)
講 師:安永 純子(当館専門学芸員)

民俗講座 13:30~15:00

- 講座番号①「民俗学と地質学から見た四国西予ジオパーク」
日 時:5月27日(土)
講 師:中村 千怜氏(西予市ジオパーク専門員)
- 講座番号②「災害の記憶—愛媛・地震の歴史と伝承—」
日 時:6月11日(日)
講 師:大本 敬久(当館専門学芸員)

考古講座 13:30~15:00

- 講座番号① テーマ展「久万高原町発掘50年の足跡!のみどころ」
日 時:6月3日(土)
講 師:兵頭 勲(当館専門学芸員)
- 講座番号②「久万高原町の考古学事情」
日 時:7月22日(土)
講 師:遠部 慎氏(久万高原町教育委員会学芸員)

体験講座

- 講座番号①「銅板細工に挑戦!壁掛け作り」
日 時:6月18日(日) 13:30~15:30
(定員:20名)
講 師:稲垣 紀子氏(日本画家)
参加費:1,000円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号②「アート書道で字はがき」
日 時:6月25日(日) 13:30~15:30
(定員:20名)
講 師:堀内 智子氏(創造工房 智遊庵 書家)
参加費:500円
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号③「江戸時代のくらしに学ぶ — 卯之町の町並み散策 —」
日 時:7月16日(日) 9:30~12:00
(定員:40名)
講 師:泉 仁美氏(宇和先哲記念館職員)
仙波 香菜子氏(宇和民具館職員)
参加費:500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号④「裂き織りでトートバックづくり」
日 時:①7月17日(月・祝)②8月11日(金・祝) 13:30~15:30
(定員:各回3名)
講 師:宇都宮 美紀(当館専門学芸員)
参加費:1,000円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑤ 史跡めぐり「江戸時代の古民家探検」
日 時:8月27日(日) 9:30~17:00
(定員:25名)
講 師:大本 敬久(当館専門学芸員)
参加費:4,500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑥「アロマを使った手ごねせっけん」
日 時:9月10日(日) 13:30~15:30
(定員:20名程度)
講 師:kanmi氏(公益社団法人日本アロマ環境協会認定
アロマセラピーインストラクター 香工房 香ん美)
参加費:1,500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴



お問い合わせ
企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL (0894) 62-6222
FAX (0894) 62-6161

申込方法
希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

歴史文化博物館友の会 会員募集中

友の会は、博物館を利用し、愛媛の歴史や民俗などに親しみ、会員相互の親睦を深めることを目的とした会です。

《会員特典》

- 常設展と特別展を無料で観覧できます。
 - 「会報」や「歴博だより」などをご自宅にお届けします。
 - 友の会主催行事に参加できます。
 - ①研修旅行(年1回)
 - ②現地学習会(年2回)
 - ③クラブ活動(民俗、土器トキ、裂織、古文書、パソコン)
 - ④特別展解説会
 - 季節体験イベントの材料費が無料もしくは割引となります。
 - 博物館の刊行物が割安で購入できます。
- ※会員特典は、変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

《入会方法》

- 1.会費をご持参の上、歴史文化博物館に直接お申込みください。
- 2.郵便振替払込取扱票に、名前・住所・電話番号・会員の種類を記入の上、郵便局で会費をお振り込みください。

口座番号 01610-0-45873
愛媛県歴史文化博物館友の会

※ご入金を確認後、会員証をお送りいたします。

《年会費(4月~翌3月)》

【小学生会員】 500円 【高校生会員】 1,000円
【大人会員】 3,000円 【家族会員】 4,000円
【賛助会員】 10,000円

《お問い合わせ》 友の会事務局 電話(0894)-62-6222

ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

区分	一般		団体	
	大人(高校生以上)	中学生以下	50人以上	20人以上
常設展	510円	無料	410円	無料
テーマ展	260円	210円		
新常設展	観覧無料			

※特別展の観覧料はその都度定めます。
※団体は20名以上です。
ご利用の際は、再度お確かめください。

Museum Calendar 2017.4-6

4月							5月							6月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1		1	2	3	4	5	6							1	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31											
														25	26	27	28	29	30		

展示スケジュール

2017.4-2018.3

2017	4	特別展 「迷路絵本 香川元太郎のフシギな世界」 4月22日(土)~6月25日(日)	常設展 えひめの歴史と文化 新常設展 和紙彫塑による弘法大師空海の世界 密・空と海・内海清美展(後半章)
	5	▶「G.W.イベント」5月3日(水)~7日(日)	
	6		
	7	特別展 「トリックアート大江戸物語」 7月15日(土)~9月3日(日)	
	8	▶夏休みイベント「れきはくこども夏まつり」8月11日(金)~15日(火)	
	9		
	10	特別展 「高虎と嘉明—転換期の伊予と両雄—」 9月30日(土)~11月26日(日)	
	11	▶「開館記念イベント」11月12日(日)	
	12		
2018	1	▶「新春イベント」平成30年1月2日(火)・3日(水)	
	2		
	3	特別展 「四国遍路の世界遺産化に向けて 四国遍路と愛媛(仮)」 平成30年2月17日(土)~4月4日(水)	

※行事や展示、日程などが、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営・指定管理者 いよてつ総合企画

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222

【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成29年3月15日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館